

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
 担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道45号 上北道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県上北郡六戸町大字犬落瀬 至：青森県上北郡東北町大字大浦	延長	7.7km		
<p>事業概要</p> <p>国道45号は、仙台市を起点に太平洋沿岸地域を経て八戸市、十和田市を經由し国道4号と重複し青森市に至る延長約58.4kmの幹線道路である。</p> <p>上北道路は、青森県上北郡六戸町大字犬落瀬から同郡東北町大字大浦を結ぶ延長7.7kmの自動車専用道路であり、県都青森市と北東北の中核都市八戸市を結ぶ高規格幹線道路ネットワークの一部を形成するとともに、三次救急医療施設へのアクセス向上、物流効率化等を目的とした事業である。</p>					
H17年度事業化		H16年度都市計画決定		H18年度用地着手	
H19年度工事着手		H17年度事業化		H16年度都市計画決定	
全体事業費	245億円	事業進捗率	50%	供用済延長	0.0km
計画交通量	9,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 3.1 (残事業) 6.1	(残事業)/事業全体 126億円/246億円 事業費：108億円/228億円 維持管理費：18億円/18億円	(残事業)/事業全体 766億円/766億円 走行時間短縮便益：653億円/653億円 走行経費減少便益：59億円/59億円 交通事故減少便益：54億円/54億円	平成21年	
<p>感度分析の結果</p> <p>【残事業】 残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=7.1(交通量 +10%) B/C=4.6(交通量 -10%)</p> <p>事業費変動：B/C=5.6(事業費 +10%) B/C=6.7(事業費 -10%)</p> <p>事業期間変動：B/C=5.8(事業期間 +20%) B/C=6.3(事業期間 -20%)</p>					
<p>事業の効果等</p> <p>①青森市～八戸市間の交流連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 県都青森市と北東北の中核都市八戸市の交流、連携を促進する高規格幹線道路の骨格を形成する。 県都青森市～北東北の中核都市八戸市間の所要時間が121分から86分と約35分の短縮が図られる。 定時性、安全性が向上し物流の効率化が期待される。 <p>②道路ネットワークの信頼性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北道弘前線の代替路としての所要時間差が約25分まで短縮される。 <p>③三次救急医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 八戸市立市民病院（三次救急医療施設）の60分カバー圏域人口が526千人から533千人へと7千人増加する。 <p>④上十三地域と下北地域の産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送時間の短縮、経費削減が図られ、物流コスト、輸送体制の改善が期待される。 <p>⑤交通混雑の緩和と交通事故の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森県内の国道及び県道平均の約9倍である渋滞損失時間（約7.8万人時間/年キロ）の減少が期待される。 青森県内の国道及び県道平均の約7倍である死傷事故率（368.6件/億台キロ）の減少が期待される。 					
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>上北道路は高規格幹線道路ネットワークの一部として、時間短縮効果による日常生活の利便性の他、青森・津軽・南部地方相互の地域間交流の緊密化等が期待されており、青森市長をはじめとする首長で構成される青森県東北縦貫自動車道八戸線建設促進期成同盟会より早期整備の要望（平成21年7月17日）を受けている他、多くの団体から同様の要望を受けている。</p> <p>県知事の意見：再評価については、異存はありません。しかしながら、事業の執行にあたっては、引き続き、コスト縮減に努めて頂きますようお願いいたします。</p>					
<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。</p> <p>なお、以下の意見があった。</p> <p>事業立ち上げ時の事業費の見積もりが甘いことにより、後に増額が発生することのないよう、可能な限り正確に見積もること。</p>					
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。</p>					
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>【執行済み額】事業費：122億円（進捗率50%） うち用地費：20億円（進捗率94%）</p>					

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
事業進捗に係る問題はない。早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等
・斜材付π型ラーメン橋の構造見直しによるコスト縮減
・交差点形状の見直しにより、BOX延長を短縮

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



上北道路



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。